



全国スキー協通信

〒114-0014 東京都北区田端 1-24-22 山柿ビル 3F 電話番号 03-5842-1931

URL <http://www.mmjp.or.jp/wsaj> e-mail wsaj@post.email.ne.jp

2026年4月1日 No.537 発行責任者 小川洋 編集 芦村憲一

【郵便振込み】口座番号：00180-7-82138 加入者名：全国勤労者スキー協議会

全国スキー協第34期 第9回常任理事会議事録(抜粋)

日時 2026年3月26日 20:00～

議題

1 この間の日程

- 2月20～23日 第52回全国スキー・スノーボード競技大会
- 2月28～3月1日 全国山スキー部 50周年企画 魚沼スキー
- 3月7～8日 デモンストレーター養成特別講習会 一の瀬ダイヤモンドスキー場
- 3月7～8日 全国スノーボード部 ファイナルキャンプ
- 3月9日 第2回全国競技部会
- 3月14～15日 スポーツ連盟定期総会 東京 リアル+オンライン 小川リアル参加
小川が副理事長に就任(スポーツ運動・組織局担当)
スキー協から伊藤、梶並、和田(ZOOM)、永田(愛知)川上(東京)が
代議員で参加。前橋スベロークラブが50周年表彰(荻原さんが招待参加)
- 3月21～22日 デモンストレーター選考会 一の瀬ダイヤモンドスキー場

2 これからの日程(常任理事会は毎月第3月曜日と第4木曜日を交互に開催)

- 4月4～5日 セッター研修・養成・検定 野沢温泉スキー場
- 4月11～12日 全国山スキー部 月山山スキー
- 4月11～12日 全国技術部会 一の瀬ダイヤモンドスキー場

3 全国競技大会の結果

- 現状報告 GS126名/SL84名/練習会参加53名/宿泊115人84名(選手)
前日練習会で1人怪我(肩)。それ以外は無事に終了。
収支報告は未だ(4月9日総括会議を開催)
- 53回、54回は関越Bが主管(53回は第29回スポーツ祭典扱い)

4 各部局から報告・討議

- 技術部・指導員部から
デモ選・STCの結果
17名参加(デモ選12名、STC5名)。九州からSTC選手2名、応援1名。
デモ認定者はゼロ。75点Overは赤木さんのみ(GW撮影会へ参加依頼)。
中級指導員検定は2名(1名は事前講習時に負傷したため不参加)。
指導員検定での単位合格対象も無かった。

(1面のつづき)

前回常任理事会以降の指導員検定結果(6名が合格)

- ・工藤 勲さん 北海道 初級指導員
- ・東海林和代さん 北海道 初級指導員
- ・安田浩之さん 群馬 初級指導員
- ・白井精一さん 神奈川 初級指導員
- ・横川一星さん 東京 中級指導員
- ・田端 遼さん 東京 スノーボード指導員

全員について常任理事会で承認した。

●組織部 新ホームページについて

組織局会議を開催。議事録は別紙

- ・HPについては新旧で整合性はとれていません。
- ・ブロックのページなるもの、掲載する内容や構成をキチンと各ブロックへ提示し承認を受けた上で進めてはどうでしょうか？
- ・とりあえず作ってみてから修正を入れるのはタイプが良くないです。
→対応の遅さを謝罪し対応を早める。指摘された内容は持ち帰って検討します。
ブロックのページについては各ブロックからの意見を聴取する事にする。

●山スキー部

50周年記念行事の報告

「SAKAE CLUB」と「魚沼スキー」の報告(別紙あり)

2つの行事とも参加者が目標にしていた参加者が集まらず、参加者からのカンパと事務局経費の削減で収支をプラスマイナス0にした。との報告がありました。

この件について事前に文書発言有りました。

予算案を常任理事会へ提出した際、講師3人を呼んで数十万円の支出があり、大赤字予算の提示があった際、常任理事会として講師を減らすかどうかして赤字にならないように再考を求めました。

この報告書を見る限り、参加者からカンパを募って収支ゼロになってはいますが、収支ゼロになったからOKだろう?という話ではありません。

これに対して山スキー部からは、

- ・常任理事会での指摘を踏まえて収支がプラスマイナス・ゼロとなるよう計画を見直し、参加目標人数を70名にして行事を実施した。結果として参加人数が少なく赤字となった。特別ゲストとしてオリンピックを呼んでいたが講演代を値切るのは難しく、事務局および参加者からカンパに協力してもらい収支をトントンにした。という経緯です。

との報告がありました。

いずれにしても行事を開催する場合の予算は赤字を出さない事を重視して参加費の算出や無理のない行事内容にする事が重要。

また、常任理事会で議決が必要な内容などはキチンと議事録に残し徹底するべきだ。現在の「全国通信」は全国の動きや行事を案内しているだけで本当の意味での「議事録」ではない。

との指摘がありました。

●スノーボード部

ファイナルキャンプ報告 **担当者が参加していないためスキーメイトの記事を参照**

●競技部

セッター養成の現状 15名が参加予定

●メイト局 次号について **6月15日発行予定**

組織局会議議事録

2026/03/05
組織局 小川洋

参加者 小川・伊藤・梶並・関根・菅沼（全国）、石川（北海道）、鈴木（滋賀）、西村（福岡）、北村（埼玉）、松山（栃木）、吉田（群馬）、永田（愛知）、神山（静岡）

1、会議の目的

- ・新ホームページの完成状況の報告と具体的な今後の更新作業の分担の説明
- ・6月の代表者会議に向けた各都道府県の組織状況の確認と8月に開催予定の「組織交流集会」の提案

2、新ホームページの完成状況

ほぼ完成して旧ホームページとの整合性、データ移行は完了。

後はブロックのページの行事日程や都道府県ページの対応をすれば完了する。

すでに運用を開始しています。（現在はインターネット上に旧サイトと新サイトが両方存在している状況です。）6月には旧サイトを閉鎖したい。

アドレスは <https://wsaj.njsf.net/>

その上で

①都道府県のページについての対応

- ・現在存在する都道府県のページはブロックのページに県名を表示してリンクを貼る
 - ・県のページを必要としない県は県名のところに「〇〇県への問い合わせは以下からお願いします」という文書を表示し、問合せフォームが立ち上がる様にするので、問合せがくるメールアドレスを連絡して下さい。ちなみに東北ブロックはすべてこの方式。
 - ・県のホームページを新規作成したい県は現在ひな形（群馬で見本作成）が出来ているのでこれを元にデザインや必要な写真や動画、コンテンツページの作成などを連絡して欲しい。費用は掛かりません。
- ひな形は <https://www.njsf.net/gunma-ski/>
- ・ブロックのページや新しく作成する県のページの更新作業は各ブロックで行う。各ブロックに更新担当者を配置し更新作業をして下さい。（当面、どうしてもできない場合は全国に相談）各ブロックにブロックのページだけを更新作業できる方法を周知します。行事案内や行事報告、スケジュール等の情報をアップして下さい。（動画もOKです）当然、新しく作成した県のページ更新もブロックでお願いします。

●新設する県のページは県で更新したい→対応済み（別アドレスで作成しているので大丈夫）

●現在、更新用マニュアルを作成中4月中には説明会を開催したい。

●県スキー協の紹介文を募集中

●現在、県ページの作製依頼は栃木県（写真やテキストの素材待ち）

3、組織交流集会について

8月のサマーセミナーに合せて「組織交流集会」を開催したい。

- ・都道府県での会員拡大や新しい取り組みの経験交流
- ・会員拡大の成功例や失敗例の経験交流
- ・今後の会員拡大をどう進めていくかの意思統一
- ・青年層をどう獲得するかを議論
- ・WEBやSNS、インスタ等の活用術の研究
- ・ツポーツ連盟の多種目の経験から学ぶ

など様々な角度から組織拡大につながるヒントを見つけられる集会にしたい。

4、定期的な組織局会議の開催

できれば3カ月に1回程度の頻度で組織局会議を開催したい

- ・会議内容の検討

2026年3月31日

都道府県スキー協・クラブ代表者 御中

全国勤労者スキー協議会
第34期代表者会議招集状

全国勤労者スキー協議会 会長 和田 利男

第34期代表者会議を下記の通り開催します。

代表者会議は、第34期方針に基づき「全国スキー協の第33期前半の総括と後半の方針の確立」を行うものです。代表者会議への派遣をお願いいたします。

記

- 1、日時 6月7日（日）13時開場～17時閉会予定
 - 2、会場 ZOOMによるオンライン会議
後日、代表者あてにメールにて案内をお送りします。
 - 3、議題 ①第34期1年度活動総括、第34期2年度方針案
②第34期1年度決算報告
③第34期2年度予算案
④その他
 - 4、代表者会議の構成
 - ①代表者 各都道府県から2名
都道府県スキー協が存在しない場合はクラブから1名
 - ②会長、副会長、理事長、副理事長、事務局長、常任理事、監査
 - ③技術、競技、山スキー、スノーボードの各部長
- *別紙（後日配布）、代表者登録用紙に記入し、6月1日までにメール、
FAX：017-763-3088（緊急時）してください。